CASBEE®さいたま2016年版 評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEEさいたま2016年版　■使用評価ソフト：CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要

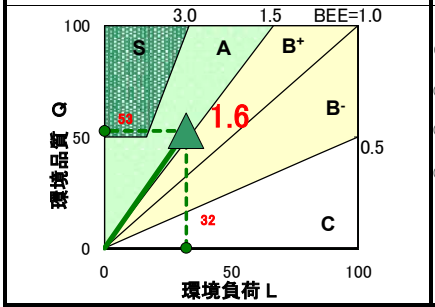
建物名称	(仮称)サンクレイドル東浦和Ⅱ新築工事	階数	地上6F、地下1階
建設地	さいたま市緑区東浦和一丁目4番9・10・11・12・13	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域	平均居住人員	136 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月　予定	評価の実施日	2025年10月3日
敷地面積	1,182 ㎡	作成者	
建築面積	615 ㎡	確認日	2025年10月3日
延床面積	2,839 ㎡	確認者	

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.6

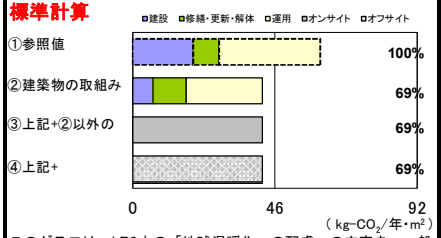
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

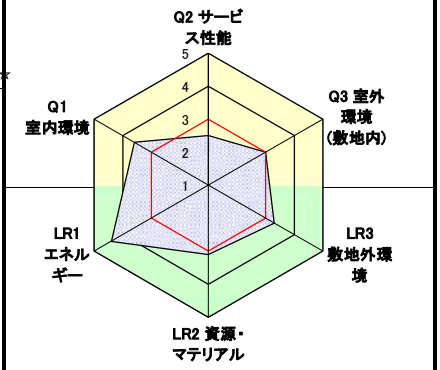
30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

標準計算



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

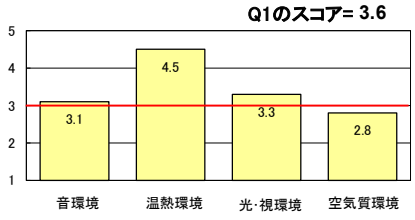
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



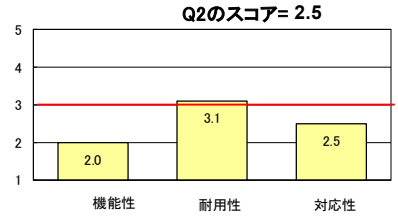
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.1

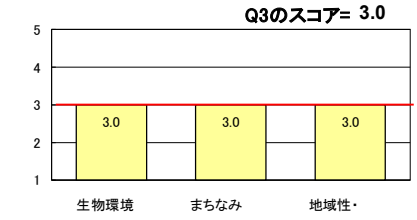
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.6



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.5

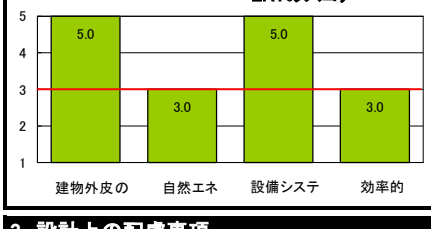


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 3.0

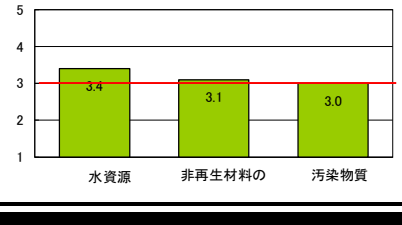


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.7

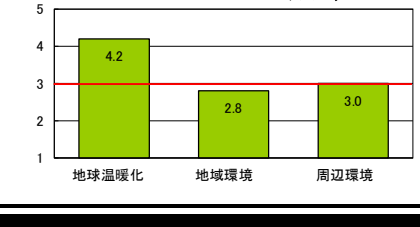
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 4.4



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.1



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.3



3 設計上の配慮事項

総合
外皮性能や室内外の環境に加え、適切な緑化環境への配慮によって生活環境の向上に努めている。

その他
特になし

Q1 室内環境
開口部の遮音性能や複層ガラスの採用、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える外皮性能として、室内環境の向上に努めている。

Q2 サービス性能
高寿命な材料を使用し、建物の耐久性に配慮している。耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。

Q3 室外環境（敷地内）
可能な限り緑化に努め、外来種・自生種・小動物の生息環境に配慮している。

LR1 エネルギー
外皮性能を高め、効率のよい空調機器・全面的なLED照明の導入など、高効率な設備システムを導入することで省エネルギー化を図っている。

LR2 資源・マテリアル
主要水栓および便器には節水器具を採用し、水資源の保護に配慮している。

LR3 敷地外環境
敷地内に屋外広告照明の設置を避け、周辺の光害抑制を図っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
(仮称)サンクレイドル東浦和Ⅱ新築工事

■使用評価マニュアル：CASBEEさいたま2016年版
■評価ソフト：CASBEEさいたま2016ver.2.0
　　欄に数値またはコメントを記入

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								**3.1**
Q1 室内環境					**0.40**		-	**3.6**
1 音環境				**3.0**	0.15	**3.1**	1.00	**3.1**
1.1 室内騒音レベル				**3.0**	0.50	**3.0**	0.50	
1.2 遮音				**3.0**	0.50	**3.3**	0.50	
	1	開口部遮音性能	住）T－2	3.0	1.00	5.0	0.30	
	2	界壁遮音性能		-	-	2.0	0.30	
	3	界床遮音性能（軽量衝撃源）	Lr-45	-	-	4.0	0.20	
	4	界床遮音性能（重量衝撃源）		-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音				-	-	-	-	
2 温熱環境				**2.2**	0.35	**5.0**	1.00	**4.5**
2.1 室温制御				**2.2**	0.50	**5.0**	1.00	
	1	室温		3.0	0.63	-	-	
	2	外皮性能	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える性能	1.0	0.38	5.0	1.00	
	3	ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御				**1.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				**1.5**	0.25	**3.7**	1.00	**3.3**
3.1 昼光利用				**1.8**	0.30	**3.5**	0.50	
	1	昼光率	1.5%≦［住居昼光率］＜2.0%	1.0	0.60	4.0	0.50	
	2	方位別開口		-	-	3.0	0.30	
	3	昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策				**1.0**	0.30	**4.0**	0.50	
	1	昼光制御	住）カーテンと庇の2種類を組み合わせてグレアを制御	1.0	1.00	**4.0**	1.00	
3.3 照度				**3.0**	0.15	-	-	
3.4 照明制御				**1.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境				**2.6**	0.25	**2.8**	1.00	**2.8**
4.1 発生源対策				**3.0**	0.60	**3.0**	0.63	
	1	化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気				**2.0**	0.40	**2.6**	0.38	
	1	換気量	住）建築基準法を満たす換気量の1.2倍となっている	1.0	0.50	4.0	0.33	
	2	自然換気性能		-	-	1.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
	1	CO_2の監視		-	-	-	-	
	2	喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能				―	**0.30**	-	-	**2.5**
1 機能性				**2.4**	0.40	**2.0**	1.00	**2.0**
1.1 機能性・使いやすさ				**3.0**	0.40	**2.0**	0.60	
	1	広さ・収納性		-	-	-	-	
	2	高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00	
	3	バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				**1.0**	0.30	**2.0**	0.40	
	1	広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース		-	-	-	-	
	3	内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理				**3.0**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				**3.1**	0.30	-	-	**3.1**
2.1 耐震・免震・制震・制振				**3.0**	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				**3.5**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数	住宅の品質確保の促進に関する法律において等級3相当	5.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	16年以上～25年未満	4.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にC以上を使用している	4.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				**3.0**	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		**3.0**	0.30	**2.5**	1.00	**2.5**
3.1 空間のゆとり		-	-	**2.0**	0.50	
1 階高のゆとり		-	-	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		**3.0**	-	**3.0**	0.50	
3.3 設備の更新性		**3.0**	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）		–	**0.30**	-	-	**3.0**
1 生物環境の保全と創出		**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
2 まちなみ・景観への配慮		**3.0**	0.40	-	-	**3.0**
3 地域性・アメニティへの配慮		**3.0**	0.30	-	-	**3.0**
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		**3.0**	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		**3.0**	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-		-	**3.7**
LR1 エネルギー		–	**0.40**	-	-	**4.4**
1 建物外皮の熱負荷抑制	日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4を超える性能	**5.0**	0.20	-	-	**5.0**
2 自然エネルギー利用		**3.0**	0.10	-	-	**3.0**
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.75	**5.0**	0.50	-	-	**5.0**
4 効率的運用		**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価		**3.0**	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル		–	**0.30**	-	-	**3.1**
1 水資源保護		**3.4**	0.20	-	-	**3.4**
1.1 節水	節水コマなどに加えて、省水型機器を用いている	**4.0**	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		**3.0**	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		**3.1**	0.60	-	-	**3.1**
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	ー	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	断熱材	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	軽量鉄骨下地のため、躯体と仕上が容易に分別可能	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		**3.0**	0.20	-	-	**3.0**
3.1 有害物質を含まない材料の使用		**3.0**	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		**3.0**	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		–	**0.30**	-	-	**3.3**
1 地球温暖化への配慮	ﾗｲﾌｻｲｸﾙCO2排出率を参照値より抑制	**4.2**	0.33	-	-	**4.2**
2 地域環境への配慮		**2.8**	0.33	-	-	**2.8**
2.1 大気汚染防止		**3.0**	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		**3.0**	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		**2.5**	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		**3.0**	0.33	-	-	**3.0**
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		**3.0**	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		**3.0**	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		1.0	-	-		
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		**3.0**	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	-	-	